

≫≫ 介護保険アンケート調査の結果について ≪≪

4月から始まった介護保険サービスが、利用されている方々にどのように受け入れられているかを把握するため、山梨県の調査に合わせて、同じ様式によるアンケート調査を昨年10月に実施しました。対象者は、都留市内の在宅の要介護等認定者(平成12年9月29日現在)で、郵送による依頼・回収を行い、307件中218件の回答がありました。(回答率71%)

また、山梨県分については、全県で1,900件のサンプル調査(本市のサンプル数は47件)が行われ、1,276件の回答がありました。(回答率67%)

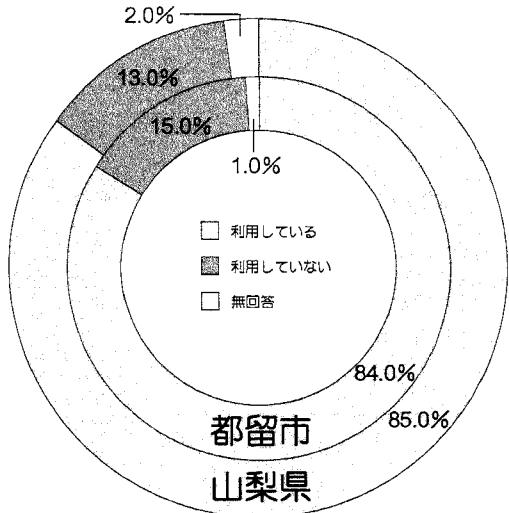
以下、主な調査項目について、結果の概要をお知らせします。

◎介護サービス利用の有無

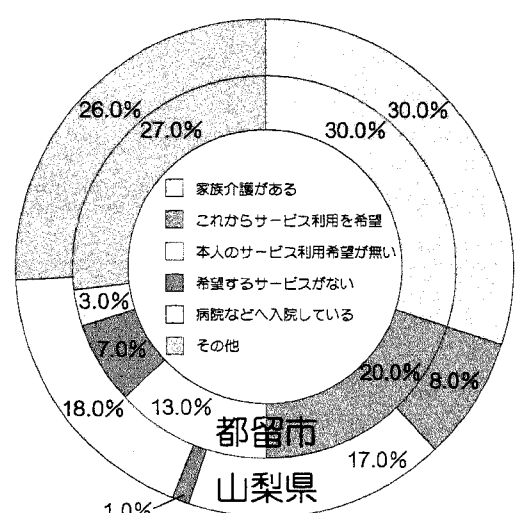
何らかの介護サービスを利用している人は84%、認定を受けたのみでサービス利用していない人は15%となり、県全体の傾向とほとんど差はありませんでした。(グラフ1)

サービスを利用しない理由としては、家族が介護してくれるので必要ないが9件、認定後間もないので利用していないが、これから利用したいが6件などとなっていて、利用したいがお金がかかるからがまんしているは1件のみの回答でした。県分と比較すると、これから利用しようとする意欲がうかがえる反面、希望するサービスがないとの指摘が2件ありました。(グラフ2)

●グラフ1 介護サービス利用の有無



●グラフ2 介護サービスを利用しない理由

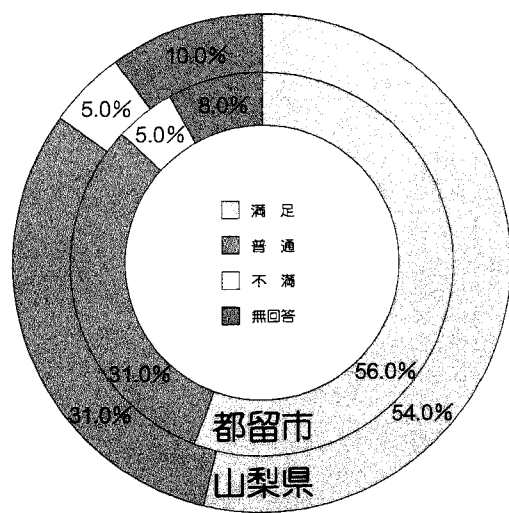


◎介護サービスへの満足度

在宅サービスに対する満足度は、全体で50%を超え、普通と合わせると87%の方に不満なく利用されています。サービス事業者の努力が評価される一方、不満として指摘のあった1件1件については、事業者に伝え改善していきます。(グラフ3)

サービス別では、訪問入浴、訪問看護、福祉用具貸与などが比較的満足度が高かった反面、短期入所は、介護保険導入前に比べて利用日数が制限されたことへの不満が多かったようです。現在では、利用日数を増やす改善策が実施されています。(グラフ4)

●グラフ3 介護サービスに対する満足度



●グラフ4 主な介護サービス別の利用満足度

